

国語科 授業進みます！

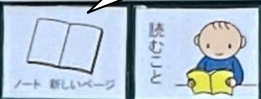
◎「見えないだけ」「アイスプラネット」「要点を整理して聞き取る」この三つの単元は、もう進みます。
このプリントと教科書をよく読み、授業をしているイメージでノートを書き進めておきましょう。
次の休校明けにノートを回収します。

今回も「読むこと」を評価する単元です。
単元が変わったので、ノートは新しいページを使いましょう。

今回の単元は一時間では終わらないので「本時の目標」も書きます。

一度、声に出して本文を読んでみましょう。
読めない漢字があれば、調べてふりがなを書いておきましょう。

声に出して読んだ後は、もう一度黙って読み、初読の感想をノートに書きましょう。
「本文を読んで初めて知ったこと」「驚いたこと」「疑問に思ったこと」・・・なるべく多く感想を書けるようにしましょう。



P.18～

アイスプラネット

椎名 誠

つきたいカ

文章に表れているものの見方や
考え方について、知識や体験と
関連付けて自分の考えをもつ力。

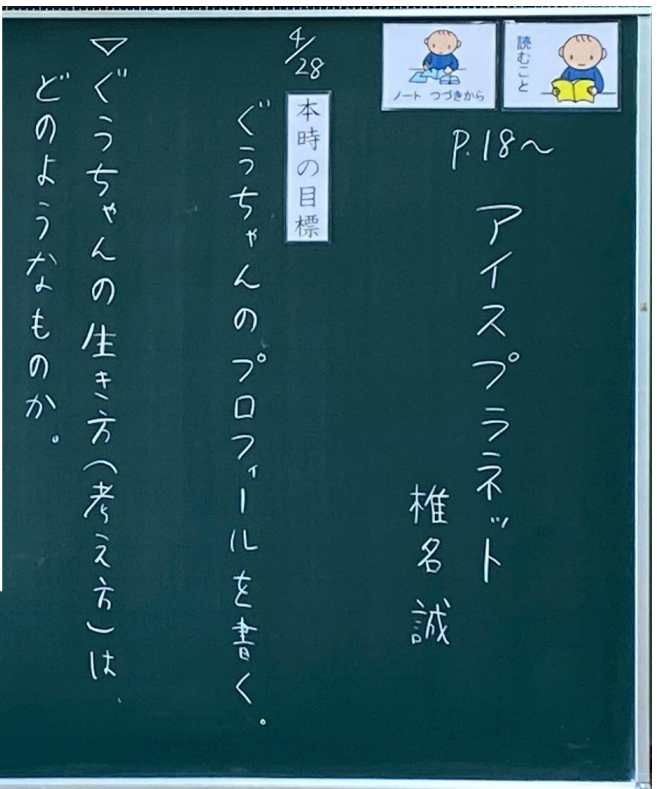
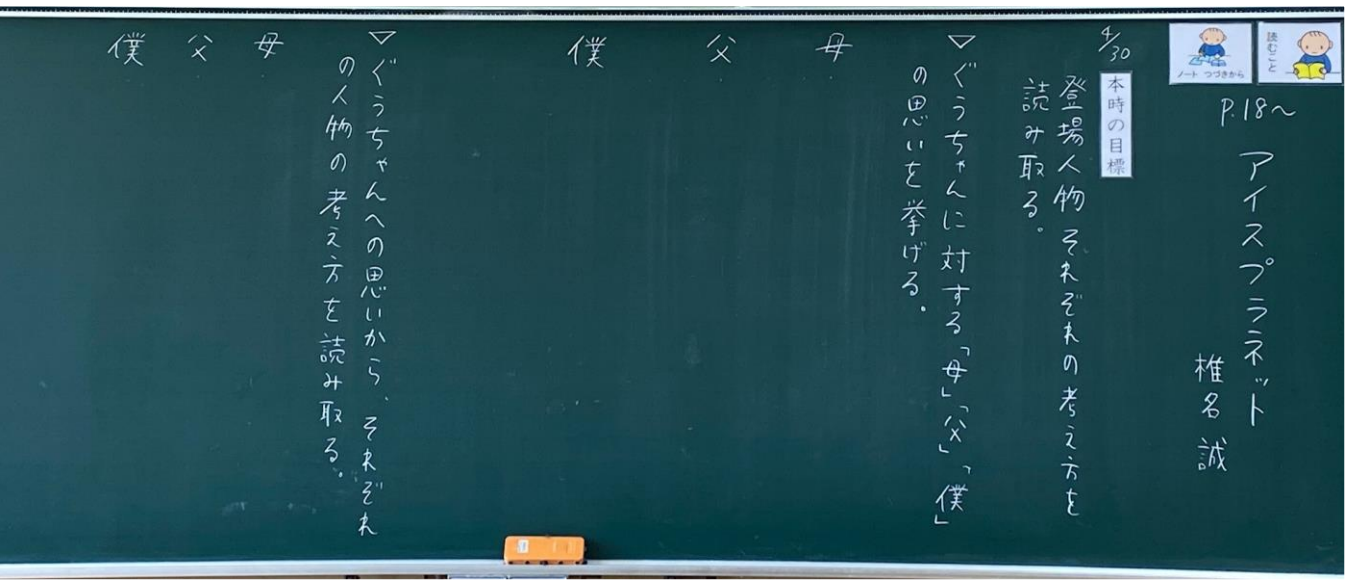
学習のゴール

ぐうちゃんへの手紙を書く。

4/27 本時の目標

あらすじを理解し、初読の
感想を書く。

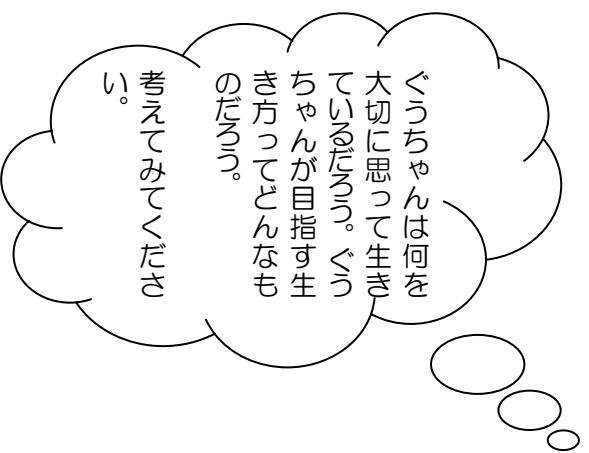
▽初読の感想



□ アイスプラネット二時間目。

本時の目標をノートに書く。
「ぐうちゃんのプロフィール」は本文を読み、配布したワークシートに記入しよう。

プロフィールが書けたら、ぐうちゃんの生き方(考え方)は、どのようなものか考えてノートに書いてみよう。



□ アイスプラネット三時間目。

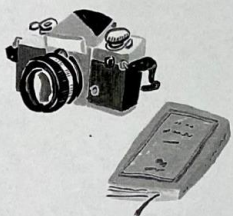
本時の目標をノートに書き、本文を音読してみよう。

前回は「ぐうちゃん自身の生き方」について考えましたが今回は「ぐうちゃんに対する家族の思い」に着目してみよう。

本文から、ぐうちゃんに対する「母」「父」「僕」の思いが分かるように見つけ、それぞれ線を引いてみよう。

アイスプラネット

椎名誠



僕のおじさんは「ぐうちゃん」という。津田由起夫三十八歳。いそろう。

僕の母親の弟だ。いつも母に怒られている。学生の頃に外国のいろんな所を旅していたらしく、気づいたときには僕の家に住み着いていた。そして、長いこと「ぐうたら」しているから、いつのまにか「ぐうちゃん」というあだ名になってしまった。でも、ぐうちゃんは変わった人で、そう言われるとなんだかうれしそうだ。それを見て僕の母はまた怒る。怒るけど「これ、ぐうちゃんの好物。」なんて言いながら、ご飯の支度しどをしているから母もちょっと変わっている。

僕の家は東京の西の郊外にあって、父の祖父が建てた。古い家だけれど、ぐうちやんが「いそうろう」できる六畳間があつて、そこでぐうちやんは「ぐうたら」している。父は單身赴任^{せんじにん}で仙台^{せんたい}にいて、週末に帰ってくる。ぐうちやんがいると何か力仕事が必要になったときに安心だから、と言って、父はぐうちやんのいそうろうを歓迎しているみたいだ。

ぐうちゃんは、家にいるときはたいいてい本を読んでいるか、唯一のタカラモノであるカメラの掃除、点検などをしている。全く「ぐうたら」ばかりでもなくて、たまに一週間ぐらい

留守にするときもある。ぐうちゃんにきくと、そんなときは、全国を回って測量の仕事をしているという。一度、家を持って帰った測量の道具を見せてもらったけれど、すごく精密な望遠鏡という感じだった。レンズの中をのぞくと中にいっぱい目盛りが付いていて、ダイヤルでピントを合わせる。いかにもプロの人の道具みたいで格好いい。かといって、ぐうちゃんは、測量の専門家でもないらしい。僕の母は、ぐうちゃんのそういう落ち着かない仕事のしかたが気に入らないようだ。「ちゃんと就職して早く独立しなさい。そうして『いそろろう』から卒業しなさい。」といったも怒る。

当のぐうちゃんば、母に怒られても、「てもまあもう少し。」などと訳のわからないことを言う。すると、母は今度は僕に向かって、「ぐうちゃんみたいな大人になってはだめだからね。」と言う。本当に文句ばかりだ。

そんな「ぐうちゃん」だけど、僕はぐうちゃんが大好きだ。ぐうちゃんの話は文句なしにおもしろいのだ。母は、「みんなほら話なんだからそんなのを聞いている暇があったら勉強していなさい。」と言うけれど、宿題をするよりよっぽどおもしろい。だから、僕がぐうちゃんの話聞くときはたいていぐうちゃんの部屋に行く。

例
母

「僕の母は〜している」

怒りながらも、弟のことが好きで、応援している。

例「父」

P18 「ぐーちゃんがつみたいた。」

自分がいない間、家にいてくれるぐうちゃんを頼りにしている。

例「僕」

P19 「僕は〜おもしろいのだ。」

ぐうちゃんのが大好き。毎日おもしろい話が聞きたい。

例のように、ぐちゃぐちゃの思いが分かるように線を引き、そこからどのような思いかを想像してノートに書こう。（人物によって線の色や種類を変えると分かりやすいです）

ノートには、例のように【ページ】**【線を引いた場所】**【そこから考えたこと】を書く。

登場人物として、三つぐらひはぐちちゃんへの思いを見つけてあげようね。

そのあと、それぞれの人物の考え方（大事にしている生き方や思い）は何か、考えて書きましよう。

ノートは続き
を使いまし
う。

いよいよこの
単元も終わ
り！
「学習のコー
ル」に入りま
す。
ノートには
「本時の目
標」と書いて
ください。



P.18~

アイスプラネット

椎名 誠

5/1

本時の目標

くうちゃんへの手紙を書く。

▽学習を振り返って

□ アイスプラネット四時間目。

これまでの学習を振り返り、あなたからくうちゃんへ手紙を書きましょ。手紙は配布したワークシートに書いてください。

振り返りもきちんと書いて。 (つけたい力がついたかどうか、という観点で)

教科書 P.29 「漢字を確認しよう」にも取り組むこと。(教科書に直接書き込んでください)



ノートも数ページ進んだと思いますが、メモ欄には何か書けていますか？

作者の情報や、本文の下に載っている語句の意味をメモしてみたり、漢字や語句の自主学習をここにやってみたり、自由に工夫してメモ欄を使ってください。

教室での授業が始まれば、他の人の意見をメモしたり、先生の言葉をメモしたり・・・とできるといが増えると思います。